

何を学び、どう活かしていくか

班のテーマ

3班 氏名 船山 遙花、丸山 湊叶、内藤 のどか、富樫 泰樹、青木 弥亜、関 柊子

出発前に平和について思っていたこと

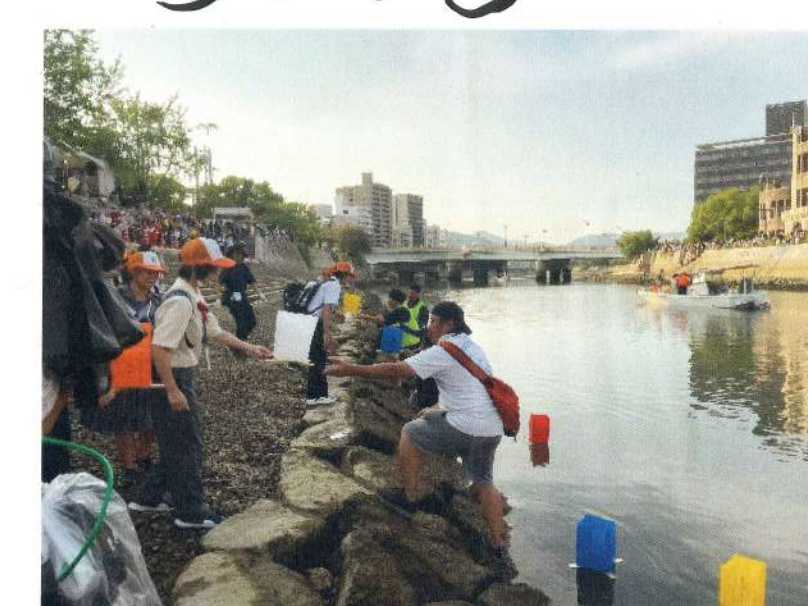
大切なもの、忘れてはいけないもの、世界中の人が「幸せ」と思えること、
平和でよい世界がわからない、学ぶべきこと、多角的に考えていく必要がある など、十人十色の意見

1日目に感じたこと、思ったこと

初めて原爆ドームを
みて驚くことが多かった
です。周りにははがれき
があり、原爆の威力
を感じる事ができ
ました。

2日目に感じたこと、思ったこと

初めて灯ろう流しに参加し
ました。
来年は長岡の灯ろう流しに参
加して、長岡からも恒久平和を
祈ってきたいと思います。



3日目に感じたこと、思ったこと

資料館を見学してみて、二度と
戦争を起こしてはいけないと
思いました。被害や、核兵器の
おそろしさなどを改めて感じ、
この思いを伝えていかなければ
ならないと感じました。

広島派遣を終えて、今平和について思っていること

派遣事業を通して戦争をよりリアルに感じ、実際に
起こった現実として見る事ができた。そして、平和とは皆が
戦争を自分事としてとらえ、二度とくり返してはならないと
意識することによって少しずつできていくものだと思った。

班のテーマに対するまとめ

平和についての考えの違いを受け入れ
尊重しあうことが大切だと学んだ。
これからは、話し合いを通して周りに伝えたり、
形に残すように保存していきたい。